

変換アダプタDINレール取付金具

形名

ERNT-ASQDIN3355
ERNT-ASQDIN356500J
ERNT-ASQDIN3868

ユーザーズマニュアル



50CM-D180127-B(2006)

● 安全上のご注意 ●
(ご使用前に必ずお読みください)

本製品のご使用に際しては、本マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って、正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。
本マニュアルで示す注意事項は、本製品に関するもののみについて記載したものです。シーケンサシステムとしての安全上のご注意に関しては、使用するMELSEC-QシリーズCPUユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

この「安全上のご注意」では、安全注意事項のランクを「警告」、「注意」として区別してあります。

- 警告** 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合
- 注意** 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
本マニュアルは必要なときに読めるよう大切に保管すると共に、必ず最終ユーザまでお届けいただくようお願いいたします。

【ご使用前の注意事項】

注意

- MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズへの置換えを行う際は、性能・機能などの差異を確認するため、必ずMELSEC-Qシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただけますようお願い致します。

【取付け上の注意事項】

警告

- 取付けは、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電あるいは製品の損傷の恐れがあります。

【注意】

- 変換アダプタDINレール取付金具は、MELSEC-QシリーズCPUユニットユーザーズマニュアル記載の一般仕様の環境で使用してください。一般仕様の範囲以外の環境で使用すると、感電、火災、誤動作、製品の損傷あるいは劣化の原因になります。
- 変換アダプタDINレール取付金具およびMELSEC-Qシリーズベースユニットは、取付けネジにて確実に固定し、取付けネジは規定のトルク範囲内で確実に締め付けてください。ネジの締付けがゆるいと、落下による変換アダプタDINレール取付金具およびMELSEC-Qシリーズベースユニットの破損の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジ、変換アダプタDINレール取付金具およびMELSEC-Qシリーズベースユニットの破損による落下の原因になります。

【立上げ・保守時の注意事項】

警告

- 清掃や取付けネジの増し締めは、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電の恐れがあります。ネジの締付けがゆるいと、落下、短絡、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジ、変換アダプタDINレール取付金具およびMELSEC-Qシリーズベースユニットの破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。

【注意】

- 変換アダプタDINレール取付金具を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。破損の原因になります。

【廃棄時の注意事項】

注意

- 製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。

1. 概要

本マニュアルは、三菱汎用シーケンサ用リニューアルツールの変換アダプタDINレール取付金具(ERNT-ASQDIN3355, ERNT-ASQDIN356500J, ERNT-ASQDIN3868)について説明したものです。

変換アダプタDINレール取付金具は、MELSEC-QシリーズベースユニットをDINレール取付けで使用する場合、固定台付き変換アダプタ(下表)を固定するために必要となる製品です。

固定台付き変換アダプタ	
アナログ入力用	ERNT-ASQT68AD-G
温度入力用	ERNT-ASQT68TD-H01, ERNT-ASQT68TD-H02
高速カウンタ用	ERNT-ASQTD61, ERNT-ASQTD62, ERNT-ASQTD62D

実際にMELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズへの置換えを行う際は、性能・機能などの差異を確認するため、必ずMELSEC-Qシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただけますようお願い致します。
開封後、下記製品が入っていることを確認してください。

品名	形状	個数
変換アダプタDINレール取付金具(右)		1
変換アダプタDINレール取付金具(下)		1
止め金具		1
取付けネジ(M4×8)		4

2. 製品仕様

変換アダプタ DINレール取付金具 形名	仕様	
	対応 MELSEC-Q シリーズ ベースユニット形名	質量 (g)
ERNT-ASQDIN3355	Q33B, Q55B	150
ERNT-ASQDIN356500J	Q35B, Q65B Q00JCPU, Q00UJCPU	165
ERNT-ASQDIN3868	Q38B, Q68B	195

なお MELSEC-Q シリーズベースユニットを DINレールへ取付ける際は、別途、三菱電機(株)製 DINレール取付用アダプタが必要になります。

MELSEC-Q シリーズベースユニット形名	DINレール取付用アダプタ形名
Q38B, Q68B	Q6DIN1
Q35B, Q65B, Q00JCPU, Q00UJCPU	Q6DIN2
Q33B, Q55B	Q6DIN3

3. 実装と設置

3.1 取扱い上の注意事項

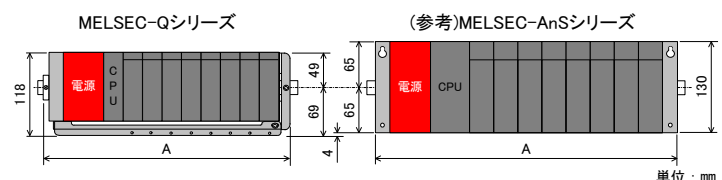
- 取付けは、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電あるいは製品の損傷の恐れがあります。
- 変換アダプタDINレール取付金具およびMELSEC-Qシリーズベースユニットは、取付けネジにて確実に固定し、取付けネジは規定のトルク範囲内で確実に締め付けてください。ネジの締付けがゆるいと、落下による変換アダプタDINレール取付金具およびMELSEC-Qシリーズベースユニットの破損の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジおよびMELSEC-Qシリーズユニットの破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。
- 変換アダプタDINレール取付金具を落下させたり、強い衝撃を与えないようにしてください。破損の原因になります。

3.2 設置環境

使用するMELSEC-QシリーズCPUユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

4. 取付け寸法

- MELSEC-AnSシリーズより下側へ4mm大きくなります。
- MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズに置き換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してください。



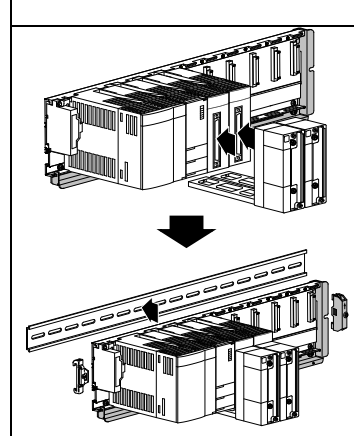
MELSEC-Q シリーズ ベースユニット形名	A	MELSEC-AnS シリーズ ベースユニット形名	A
Q33B	213	A1S33B	255
Q35B	268.5	A1S35B	325
Q38B	352	A1S38B, A1S38HB	430
Q55B	211	A1S55B	260
Q65B	266.5	A1S65B	315
Q68B	350	A1S68B	420
Q00JCPU	268.4	A1SJCPU	330
Q00UJCPU		A1SJHCPU	

5. 各部の名称と取付け方法

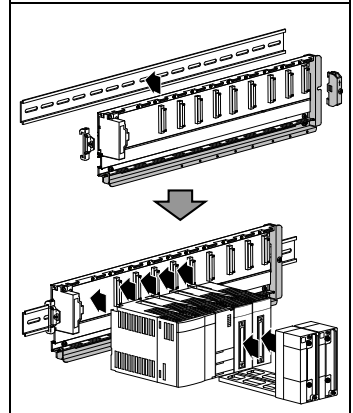
5.1 取付け方法

以下のいずれの手順でも取付け可能です。

1. 変換アダプタをシーケンサシステムに装着したあとDINレールへ取付ける場合



2. ベースユニットをDINレールに取付けたあとシーケンサユニット・変換アダプタを装着する場合

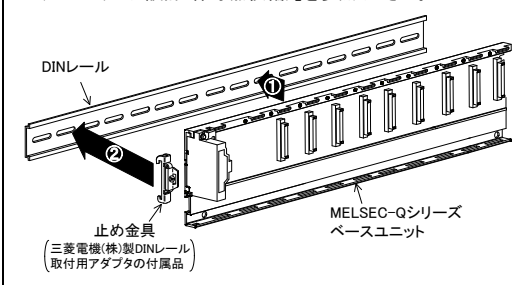


三菱電機(株)製DINレール取付用アダプタ(別売)のアダプタ(大, 小)をMELSEC-Qシリーズベースユニットの裏面に取付けます。
なお取付け方法の詳細は三菱電機(株)「QCPUユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)」を参照ください。

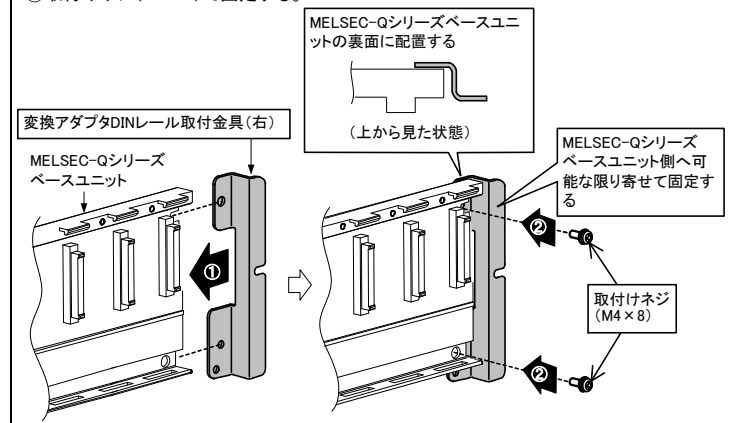
DINレール取付用アダプタ形名	構成部品			
	アダプタ (大)	アダプタ (小)	角型ワッシャ	取付けネジ (M5×10)
Q6DIN1 Q6DIN2 Q6DIN3	ベースユニット裏面に取付け		DINレールの設置に使用	止め金具

*1: 1個のみ使用します。

- MELSEC-QシリーズベースユニットをDINレールに取付けます。
- 三菱電機(株)製DINレール取付用アダプタの止め金具をMELSEC-Qシリーズベースユニットの左側に取付けます。取付け方法の詳細は三菱電機(株)「QCPUユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)」を参照ください。

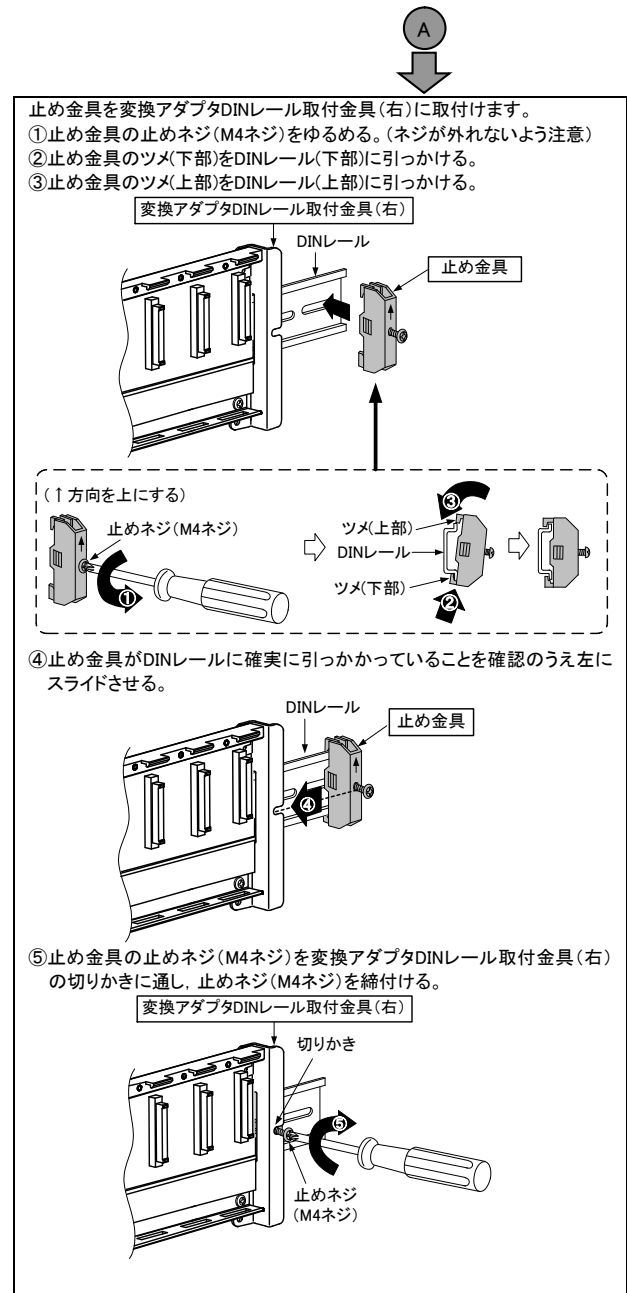


- 変換アダプタDINレール取付金具(右)をMELSEC-Qシリーズベースユニットの右側に取付けます。
- 変換アダプタDINレール取付金具(右)とMELSEC-Qシリーズベースユニットのネジ穴を合わせる。
 - 取付けネジ(M4×8)で固定する。



1 (裏面へ)

A



B (裏面へ)

1

変換アダプタDINレール取付金具(下)をMELSEC-Qシリーズベースユニットおよび変換アダプタDINレール取付金具(右)に取付けます。

①変換アダプタDINレール取付金具(下)の左側フックをMELSEC-Qシリーズベースユニットの下に引っかける。また変換アダプタDINレール取付金具(下)と変換アダプタDINレール取付金具(右)のネジ穴を合わせる。

左側の取付け

●取付け方法(左側面から見た状態)

●取付け穴位置(正面から見た状態)

【Q33B,Q35B,Q38B,Q00JCPU,Q00UJCPUの場合】 【Q55B,Q65B,Q68Bの場合】

右側の取付け

②先に左側を取付けネジ(M4×8)で固定する。

③右側を取付けネジ(M4×8)で固定する。

2

2

MELSEC-QシリーズベースユニットにMELSEC-Qシリーズユニットおよび変換アダプタを装着します。

①MELSEC-QシリーズユニットをMELSEC-Qシリーズベースユニットに装着する。

②変換アダプタをMELSEC-Qシリーズユニットに装着する。

③固定台付き変換アダプタの場合、変換アダプタに付属の固定台取付けネジで固定する。

MELSEC-Qシリーズ ベースユニット

完了

①MELSEC-QシリーズベースユニットをDINレールに取付けます。

②三菱電機(株)製DINレール取付用アダプタの止め金具をMELSEC-Qシリーズベースユニットの左側に取付けます。取付け方法の詳細は三菱電機(株)「QCPUユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)」を参照ください。

止め金具を変換アダプタDINレール取付金具(右)に取付けます。

①止め金具の止めネジ(M4ネジ)をゆるめる。(ネジが外れないよう注意)

②止め金具のツメ(下部)をDINレール(下部)に引っかける。

③止め金具のツメ(上部)をDINレール(上部)に引っかける。

④止め金具がDINレールに確実に引っかかっていることを確認のうえ左にスライドさせる。

⑤止め金具の止めネジ(M4ネジ)を変換アダプタDINレール取付金具(右)の切りかきに通し、止めネジ(M4ネジ)を締める。

完了

5.2 締付トルク

取付けネジは、下記の規定トルクで締め付けるようにしてください。締付トルクが適正でない場合は、落下、短絡、故障、誤動作の原因になります。

ネジの箇所	締付けトルク範囲
取付けネジ(M4×8)	1.39~1.89N・m
止めネジ(M4)	

6. 外形寸法図

(1) 変換アダプタ DINレール取付金具(右)

単位:mm

(2) 変換アダプタ DINレール取付金具(下)

形名	A
ERNT-ASQDIN3355	179.8
ERNT-ASQDIN356500J	235.4
ERNT-ASQDIN3868	318.8

単位:mm

製品保証内容

ご使用に際しましては、以下の製品保証内容をご確認いただきますようお願いいたします。

無償保証期間と無償保証範囲

無償保証期間中に製品に当社側の責任による故障や瑕疵(以下併せて「故障」と呼びます)が発生した場合、当社はお買い上げいただいた販売店を通してご返却いただき、無償で製品を修理させていただきます。

■無償保証期間
製品の無償保証期間は、お客様にてご購入後またはご指定場所に納入後1年間とさせていただきます。ただし、当社製品出荷後の流通期間を最長6ヶ月として、製造から18ヶ月を無償保証期間の上限とさせていただきます。また修理品の無償保証期間は、修理前の保証期間を超えて長くなることはありません。

■無償保証範囲
使用状態、使用方法および使用環境などが、取扱説明書、ユーザーズマニュアル、製品本体注意ラベルなどに記載された条件、注意事項などに従った正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。

生産中止後の有償修理期間

(1)当社が有償にて製品修理を受け付けることができる期間は、その製品の生産中止後7年間です。生産中止に関しては、販売店経由にて連絡いたします。

(2)生産中止後の製品供給(補用品も含む)はできません。

機会損失、二次損失などへの保証責任の除外

無償保証期間の内外を問わず、当社の責任に帰することができない事由から生じた損害、当社の製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無に関わらず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損害およびその他の業務に対する保証については、当社は責任を負いません。

製品仕様の変更

カタログ、マニュアルもしくは技術資料に記載されている仕様は、お断りなしに変更される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

三菱電機エンジニアリング株式会社

営業統括部	〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-5 (ヒューリック九段ビル)	TEL (03) 3288-1103 FAX (03) 3288-1575
東日本営業支社 (関東甲信越以北担当)	〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-5 (ヒューリック九段ビル)	TEL (03) 3288-1743 FAX (03) 3288-1575
中日本営業支社 (中部・北陸地区担当)	〒450-0002 名古屋市中村区名駅2-45-7 (松岡ビルディング)	TEL (052) 565-3435 FAX (052) 541-2558
西日本営業支社 (近畿地区担当)	〒530-0003 大阪府北区堂島2-2-2 (近鉄堂島ビル)	TEL (06) 6347-2926 FAX (06) 6347-2983
中四国支店 (中国・四国地区担当)	〒730-0037 広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	TEL (082) 248-5390 FAX (082) 248-5391
九州支店 (九州地区担当)	〒810-0001 福岡市中央区天神1-12-14 (紙与渡辺ビル)	TEL (092) 721-2202 FAX (092) 721-2109

技術お問い合わせ

名古屋事業所
技術サポートセンター
TEL.0568-36-2068 FAX.0568-36-2045
受付/9:00~12:00, 13:00~17:00 月曜~金曜(土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始の休日も除く通常業務日)

この印刷物は2020年6月の発行です。なお、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。

2020年6月作成
50CM-D180127-B